

今私たちにできること

「アイドリングストップのすすめ」

今、地球が危ない

今日、酸性雨、オゾン層の破壊、森林破壊、エネルギー問題など、環境問題についてのニュースを聞かない日はないと言っても言い過ぎではないでしょう。

その中でも特に、最近私たちの生活に影響を与えているのが、地球温暖化現象ではないでしょうか。

昨年の日本の年平均地上気温の平年差はプラス一・〇一度で、統計を開始した一八九八年以降では、一九九〇年に次いで二番目に高くなりました。特に東日本では平年差がプラス一・三度となり、一九四六年の統計開始以降一位を記録しました。

では、温暖化が進むと我々にはどのような影響が出るのでしょうか？

温暖化が進むと、海面が上

昇して数多くの島々が海に沈みます。特に、マーシャル諸島や低地の多いバングラデシュでは大きな被害がでます。

また、温暖化は異常気象を招き、地球上の各地で水の循環に影響を受けます。この結果、洪水が多発する地域がある一方、渇水や干ばつに見舞われる地域も出てきます。

こうした気候変動は世界的な農産物の収穫にも大きな影響を与え、国際相場が大きく変動します。とりわけ食糧の輸入依存度の高い日本への影響が心配です。

「鳥取県駐車時等エンジン停止の推進に関する条例」(通称「アイドリングストップ条例」)を作成しました。(平成十七年四月一日施行)

この条例は、駐車時等にはエンジンを切るよう定めたもので、不必要なアイドリングは条例違反になります。(罰則はありません)

アイドリングストップって?

自動車が進んでいない時(駐車時)にエンジンを止める

ことです。

アイドリングストップは、ムダな燃料を消費しない、ムダに二酸化炭素を出さない「事につながる」ので、誰にでも簡単にできる地球にやさしい行動といえます。

どんな時にエンジンを切るの?

ガソリン車で一〇秒、デイズェル車で三〇秒以上の駐車時は、原則として、エンジンを切る事を条例で義務づけました。

たとえば、スーパーやコンビニでの買い物の際に車を離れるとき、あるいは、車内で人を待っているときなどです。

しかし、「信号待ち」や「渋滞時」は、交通に支障をきたすおそれがあることから、アイドリングストップはしなくても良いとされています。

アイドリングストップの効果は?

乗用車(ガソリン車)の場合、五分間のアイドリングストップでガソリン〇・〇七リットルの節約になります。これを一年間続けると、節約できるガソリンの量は、二五・

六リットル!

ガソリン代にすると、約三千円分の節約になります。(百十五円/リットルで計算)

このように、アイドリングストップは、私たちの生活に身近な環境対策であり、しかも実践すればするほど地球にやさしいだけでなく、私たち自身の経済にもやさしくなれるのです。

地球温暖化を食い止めることができるのは、他でもない、あなた自身です。みなさん、地球に対してやさしい心を持ちましょう。

アイドリングストップ条例についてのお問い合わせは、

生活環境課

☎六八 五五三七 または、

鳥取県生活環境部環境政策課

☎〇八五七 二六 七二〇五

にお願います。

